

## 2024 年度（2023 年度採択者分）研究活性化経費の評価結果について

本経費は、学内予算を競争的に配分し、特色ある教育・研究の活性化等を図ることを目的に 2000 年度から導入されたものです。採択された課題については、その実施期間終了の翌年度に評価を実施することとしています。

2023 年度に終了した研究課題（12 件）について、成果報告会を開催するとともに、執行部等を評価委員とする評価を実施しましたので、その結果を公表します。

### 研究活性化経費の概要

#### 1. 趣旨

本学における学術研究の発展に資する、今後活躍が期待される若手教員に、必要な研究経費を配分するもの。

#### 2. プロジェクト類型

若手研究	359 ～ 630 千円
------	--------------

### 評価について

#### 1. 評価方法について

採択者は、成果報告書を作成するとともに、成果報告会にて評価委員に対し成果を発表する。評価委員は、成果発表及び書面に基づき、評価を実施する。

#### 2. 評価委員

学長、理事、学長の指定する副学長等

#### 3. 評価の観点

1. 当初計画の達成度
2. 教育研究成果

#### 4. 評価の採点方法

評価の観点について総合的に判断し、各評価委員 5 点満点で採点の上、平均点を算出し、以下のとおり 4 段階にて評価結果を表す。

<採点の目安>

- 5：当初計画以上に達成できている。
- 4：当初計画が達成できている。
- 3：当初計画がほぼ達成できている。
- 2：当初計画が十分に達成できていない。
- 1：当初計画が全く達成できていない。

<評価結果>

- A = 4.0 点以上  
B = 2.5 点以上 4.0 点未満  
C = 1.0 点を超えて 2.5 点未満  
D = 1.0 点

## ＜2024年度（2023年度採択者分）研究活性化経費評価結果＞

区分	所属	氏名	課題名	評価
若手	機械工学系	岡本 俊哉	局所高感度生細胞分析のための抗体機能化AFMプローブの研究	B
若手	機械工学系	Khoo Pei Loon	電気化学手法を用いる放射線用ナノフォトニック構造Zn化合物シンチレータの創製及び評価	B
若手	機械工学系	山崎 拓也	バイオマス/プラスチック複合材における熱分解反応の進行に関する研究	B
若手	電気・電子情報工学系	勝見 亮太	超高品質ダイヤモンドリング共振器構造の作製に向けた研究	A
若手	電気・電子情報工学系	坂東 隆宏	高品質全天球カメラを用いた多層雲移動方向の簡易導出法の開発	A
若手	電気・電子情報工学系	Piedra Lorenzana Jose Alberto	AlN film by reactive sputtering as a stressor for photonic devices.	B
若手	電気・電子情報工学系	引間 和浩	塗布電極シートを活用した全固体電池用電極複合体の創製	A
若手	電気・電子情報工学系	安永 弘樹	3次元ホログラフィックディスプレイの高速再生技術の開発	B
若手	応用化学・生命工学系	中神 光喜	イオン結晶性チューブを導入したマイクロ試料前処理デバイスの開発	A
若手	建築・都市システム学系	坪井 志朗	災害復興時の仮設住宅の立地要因に関する研究	A
若手	総合教育院	宮本 弘之	金融リテラシー及び金融アドバイスが分散投資に与える影響	A
若手	ダイバーシティ推進センター	武輪 敬心	ダイバーシティとインクルーシブ社会の実現に向けたマイノリティのエンパワメントに関する研究	B